吃音のはなし

生源寺　進羽

ぼくは、3さいのころからきつおんがありました。ぼくは、小学校に行って1年生のとき、みんなからまねされたりバカにされたりしました。でもきつおんのかみしばいをがっこうにもってきて1年生のたん任の先生によんでもらいました。2学きでは、きつおんのポスターをもってきて、学校のいたるところにポスターをはりました。3学きは、ぼくのきつおんをまねしたりバカにする人がなくなりました。そしてあんしんして学校でくらすことができました。3年生になると1人バカにする人がいたけどほとんどぼくのきつおんをまねしたり、バカにする人はいませんでした。

2学きになって、ぼくをバカにする人もポスターをみてバカにしなくなりました。そして僕のクラスぜんいんがぼくのきつおんをまねしたり、バカにする人もいなくなりました。

これからのもくひょうは、小学、中学、大学になってもバカにされたり、ぼくのきつおんをまねされないようにがんばります。ぼくは3年生から遠いびょういんに行きそこにきつおんをなおしてくれる先生がいました。なんとその人もきつおんになっていました。びっくりしました。きつおんになってもびょういんの先生になれるんだな、とおもいました。ぼくも大きくなったらいしゃになりたいです。

20 × 20